

米沢興讓館高校SSH通信

令和6年度 探究活動成果発表会

5月20日(月)本校講堂にて、2月の校内探究活動発表会で選出された科学研究領域の8班とプロジェクト型領域の5班計13班による口頭発表を行いました。10名の外部有識者による審査により、自然科学系の最優秀グループが全国SSH発表会への出場権を獲得しました。

【科学研究領域】

- 最優秀賞 GOD of the WIND! 風を使った未来のクリーンエネルギー サボニウス
- 優秀賞 カルタモン、サフラワイエローを用いたペニバナ型太陽電池の最適条件の探索
- 優良賞 山形県置賜地方におけるモツゴ(*Pseudorasbora parva*)とシナイモツゴ(*Pseudorasbora pumila*)の生息域調査と保全

【プロジェクト型領域】

- 最優秀賞 米沢をシャキッと！ 広げよう雪菜プロジェクト

【教員賞】

- 鷹山賞 BENI×SMILE 紅花プロジェクト

【生徒賞】

- 御前橋賞 バクテリアによるコンクリートの自己修復機能の比較検討

- 御前橋賞 Okitama Gender Innovation ~For All Generations~

【特別賞】

- 美術部男子 2名(発表会誌 表紙作成)



科学研究領域 最優秀賞 GOD of the WIND! 風を使った未来のクリーンエネルギー サボニウス

貴重な経験と学びを得たSSH

3年 女子

最優秀賞を受賞したとわかって私たちがはじめに思ったことは「本当に？」だった。校内の発表会とはいえ、本校の研究はどれもレベルが高く本格的な実験が行われている。それ故に、自分たちの発表が最優秀と評価されたことが信じられなかったのだ。

私たちは風車の一種であるサボニウス型風車に、風を制御する導風板を装着したときの発電量の変化を調べた。研究の中で何度も壁にぶつかったが、その度に先生や仲間と議論を交わして少しずつ前進した。

この経験から私が学んだことは、伝えることの難しさだ。専門用語や詳細な実験内容を知らない聴衆にたった10分で1年間の研究成果を徹頭徹尾伝えるのは不可能だろう。何を省いて何を言うのか、それを工夫して発表した。

今回の受賞を受け、私たちは8月に開催される全国大会に出場する。先生方や審査員の方に頂いたアドバイスを基に、より多くの人々に私たちの研究を理解してもらえるよう最善を尽くす所存だ。

「伝える」ことができるよう、精一杯取り組んでいく。

プロジェクト型領域 最優秀賞 米沢をシャキッと！ 広げよう雪菜プロジェクト

激動のSSH ～山あり谷あり雪菜あり～

3年 男子

私達は、米沢市の伝統野菜である「雪菜」をテーマに研究しました。日頃の活動では仲が良いことが講じて、活発に意見が飛び交いすぎて時には言い合いに発展することもありました。

案の定、発表会当日も直前まで話し合いをし、朝からみんなでスライドとにらめっこしました。しかし本番ではその甲斐もあり、雪菜農家の方との対談や、雪菜のイベントの開催を経て芽生えた「雪菜をもっと広めたい」というグループ4人の共通の想いをいかに上手く伝えるかを考え抜き、聴衆の方々に楽しく聴いていただくことができ、最高の発表になりました。

私たちの雪菜へのアツい思いは伝わったのでしょうか？ 活動を通じ、高校生だからできないと決めつけるのではなく、目標達成のためにまずは行動を起こす事の大切さに気付き、米沢の伝統文化について詳しく調査し深く関わることで米沢への愛着を深めることに繋がりました。同じ目標に向かって取り組んだ仲間との経験は、一生の宝物です。



山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

212

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 TEL 0238-38-4741 (代表)

